

蜜羽 Mitsuha

〜男たちに嬲られて〜

新入社員

しんにゆう

しゃいん

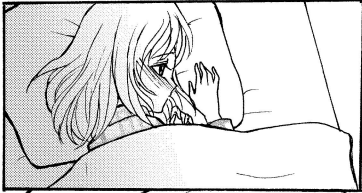
ちょうきょう

じっしゅう

調教実習

2





あ...

じゃあ...

薬を飲んでも
飲まなくても

いちど火がついたら
Hしなくては
気がすまない

なんてイヤら
しいの



もちろん私は
会社を欠勤して
としこもつた

遠野さんから
「久瀬はいま
フツーじゃないから
近づかないほうがいい」
といわれたからだ



モルモットに
されたせいで

私のからだこそ

おかしくなつて
いる気がする



そついでには
きまうは遠野
さんから
メールがない

いつも毎日
くれたのに



大勢の男に
私をもて遊ばせる
のに

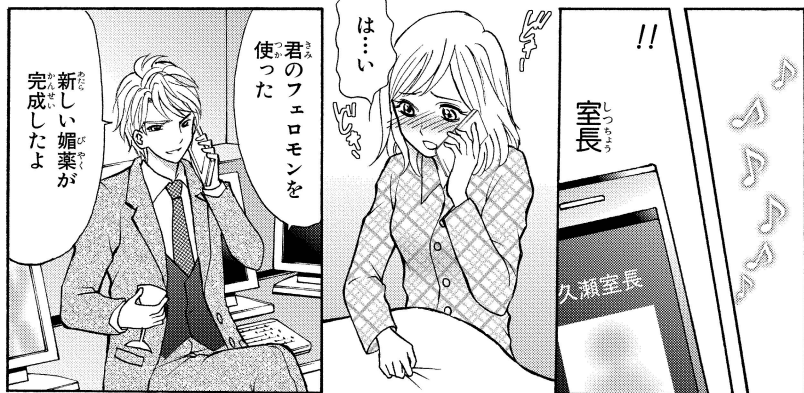
彼らが
最後まで
ヤルことは
禁止してる

なぜ？



室長きつと
怒ってる

でもひとだけ
わからぬことがある





愛する男

君の家の前に
迎える車が
いるはずだ

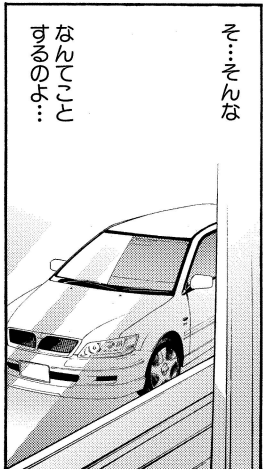
待ってるよ

遠野さん!



なによりの
私は遠野さんを
愛してないわ

だつて...



なんてこと
するのよ...

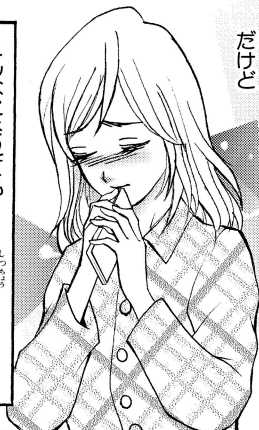
そ...そんな



あらら

あらら

私…バカみたい
だけと



こんなになされても
まだ
室長のこと
かわいそうだと
思えてしまう



最後まで
入れるのだけは
禁止していた

もしかしたら



室長も私のこと
少しは
好きになってくれる？

だから私のはじめてを
奪った遠野さんを
許せなくなつたのでは？

グーン…
グーン…

放つとけない



さっしや

私は勇気を
だして

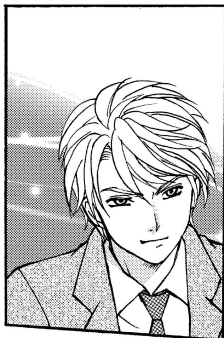
迎への車に
乗った



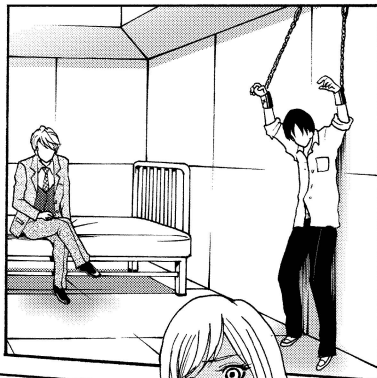
ついでにこちらは
室長の別荘

そして…
そして…
その地下室
には…



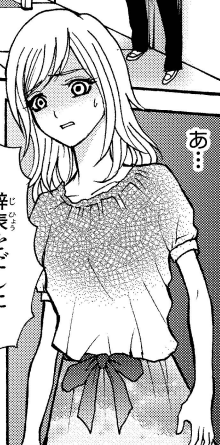


里村

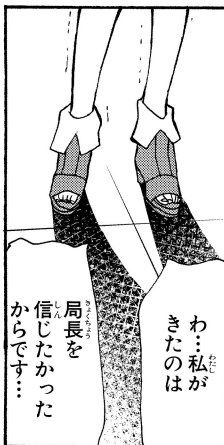


逃げるんだ
コイツツツー

辞表をだしに
きて睡眠薬を
盛られた



あ...



局長を
信じたかった
からです...

わ:私が
きたのは

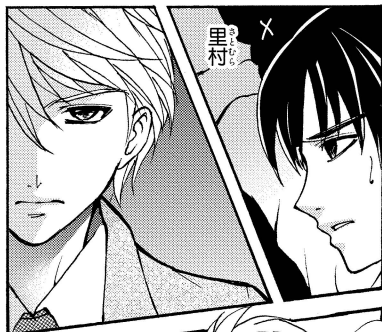
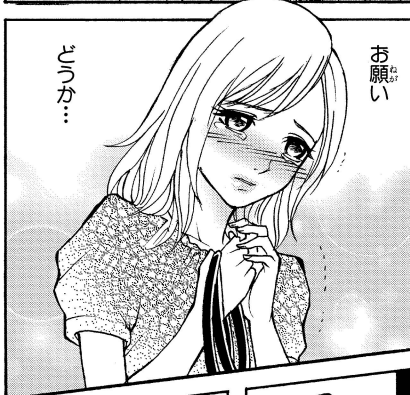
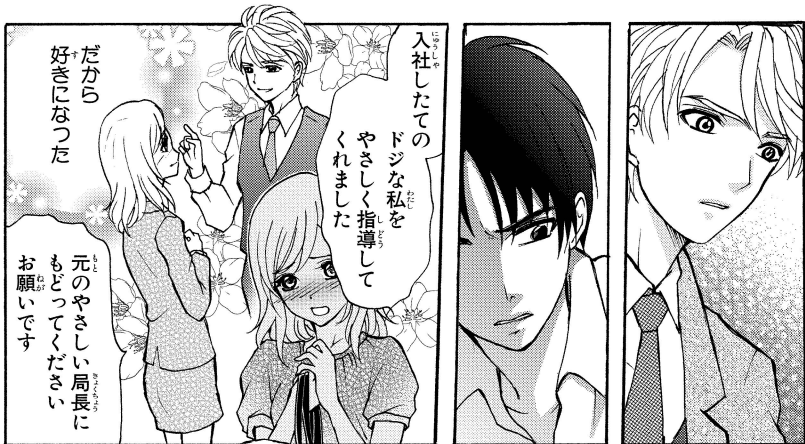


あ...



だからなにを
するかわからない

そのとおり
頭も股間も
おかしくなってる
男だ





オレはもう20分前に飲んだ

